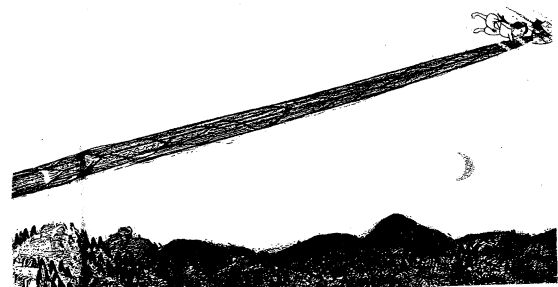


10月の 園便り



ふしぎな
たけのこ

25年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

今年度、私たちは、園内研修において テーマ「ぼくできるから大丈夫」副題～子どもの伸びる力を信じて～ として話し合いを進めています。子どもたちの自分で学ぶ力、そして自分で考える力を育てていけば「自分で生きようとする」という姿に成長していきます。そのためには、ひたすら温かく包み込んで「自分は大切な存在なのだ」と思えるようにして(これは重要な基本です)その上で、子どもが「あんなふうになりたいな」と思えるよいお手本としての保育者(友だちも)がそばにるようにして、そして「こんなふうにやれるといいね」という、目指すべき方向を保育者が具体的かつ端的な言葉で伝える、すると、子どもは自分で「あんなふうになりたい」と思って、その姿を目指して、自分を作っていくのです。

「青陵は、子どもが勝手なことをしていても許す幼稚園」ということを言われることがあるのですが、それはこの上なく悲しいことです。子どもが勝手なことをしていてもいいと認めてはいないのですよ!!子どもが取るべき行動を、保育者が行って子どもに見せているのです。「さあ、これがお手本です、真似をしてください」と、“言葉には出さずに行動で示す”という形で、正しいお手本を見せているのです。子どもたちは、生まれた時から備わっている“模倣の能力”をつかって、保育者の真似をしながら、そのようになろうとしていきます。子どもたちは、お手本を模倣して、自分で自分を成長させようとしていくのです。これは素晴らしい力なのです。この力を発揮させてあげなくては、自分で自分を成長させていくことが出来なくなりますから、重要なことなのです。

しかし、現代は情報や刺激の多い環境にあって、子どもたちの模倣の力は弱まってきています。こうした場合は、すべきことを具体的に言葉で「〇〇しますよ」と伝えていきます。・・・ 青陵の教育は、「子どもが、自分で、模倣の能力を使って、自発的に良い方向を目指して成長しようとする力」を尊重しているのです。でも、そのことができるようになるまでには、とても長い時間がかかるのです。時間をかけているから「子どもが自分勝手なことをしてもいい幼稚園」と誤解されるのかもしれませんがね。困ったことです。保育者は、子どもたちが“自分で自分を変えようとしていくのを待っているのです、子どもが本来持っている能力を守り育てるために、忍耐と知恵と努力を持って待っているのです。こうした教育であることをご理解いただくための説明が少なかったのかもしれませんがね、申し訳ないことです。“子どもが持っている大きな力を信じて待つ教育”このことを、保護者の皆様にもご理解いただき、一緒に「子どもたちが自分で育とうとする力」を育てていきたいと願っています。

25年10月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	火	○	2:00	26年度園児募集受付開始です。
2	水	○	2:00	
3	木	○	2:00	
4	金	○	2:00	
5	土	×	11:30	自由登園日です。
6	日	/	/	
7	月	○	2:00	
8	火	○	2:00	
9	水	○	2:00	
10	木	お弁当	2:00	どんぐり拾いに出かけます。詳細は学年のお便りをご覧ください。
11	金	○	2:00	
12	土	/	/	第2土曜日
13	日	/	/	
14	月	/	/	体育の日
15	火	○	2:00	
16	水	○	2:00	
17	木	○	2:00	
18	金	○	2:00	
19	土	/	/	のぼら祭準備のため自由登園はお休みです。
20	日			のぼら祭です。皆様お揃いでお出かけください。
21	月	/	/	振替休日 「星の子」は、お仕事の方のみにさせていただきます。
22	火	○	2:00	
23	水	×	11:30	誕生会です。10月生まれさんの保護者の方、一緒にお祝いしましょう
24	木	○	2:00	
25	金	○	2:00	さつまいも堀に出かけます。
26	土	/	/	第4土曜日
27	日	/	/	
28	月	○	2:00	
29	火	○	2:00	
30	水	○	2:00	
31	木	○	2:00	